

動画でもチェック▶



動画で使用方法をご確認いただけます

各種製品の使用方法

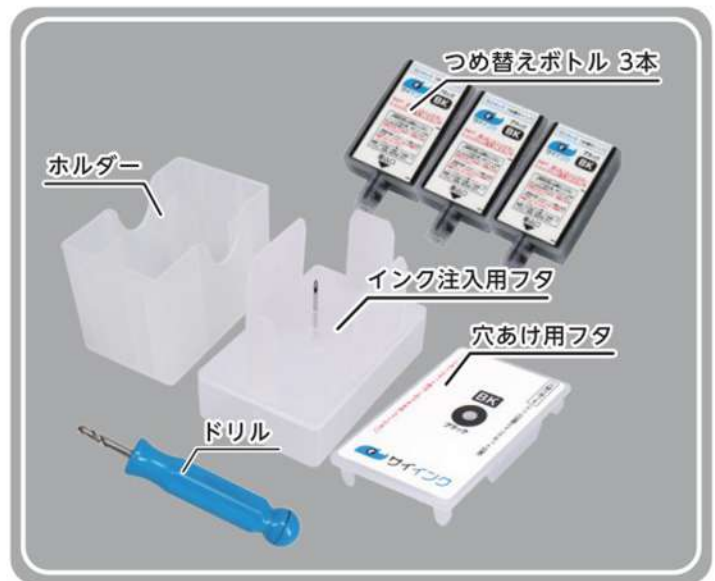
つめ替えインク キヤノン用(ヘッド付き)

インクを使い切った純正カートリッジにインクを再度充填して再利用する製品です。つめ替えに使用する専用のツールが全て同梱されております。

▼ワンタッチつめ替えインク 3色カラーセット ■■■



▼ワンタッチつめ替えインクブラックセット ■■



※使用済み純正カートリッジは付属しておりません

■最初にお読みください

- インクをつめ替え後に、プリンタの設定で「**インク残量検出機能の無効化**」(3 ページ目参照)を行うことで、印刷が可能となります。
- インクを何度もつめ替えることにより、プリントヘッドは本来の寿命以上の印刷を行うため、次第に劣化します。印刷品質を最優先にお考えの場合は、純正品のご使用をお勧めします。
- つめ替えを行うインクカートリッジは、**インクを完全に使い切った純正品**をご使用ください。再生インクカートリッジへのつめ替えは推奨しておりません。重要な部品が消耗している可能性も高く、十分な印刷結果を得られない場合がございます。
- つめ替えボトルにインクが残っている場合は、ティッシュペーパーなどで軽く拭き、周囲へのインクの付着を注意して、次回ご使用時まで保管してください。

■つめ替え手順

※注意※汚れてもよい新聞紙や紙の上で作業してください

準備するもの

- ・空になった純正インクカートリッジ
- ・汚れてもよい新聞紙や紙・本製品のキット



「**×**インクがなくなりました」

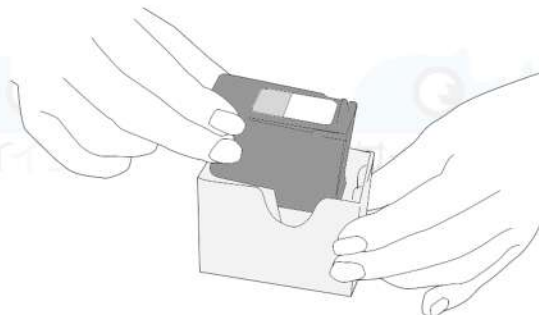
「インクがなくなりました」「インク残量が正しく検知できません」と表示されたら**つめ替えが可能です**。つめ替え手順にお進みください。



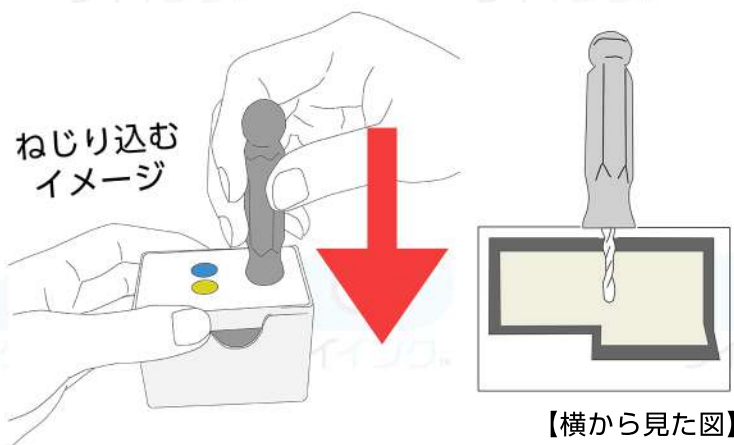
「**!**インクが少なくなっています」

まだつめ替えができません。表示が変わるまで、純正インクを使い切ってください。

1 使い切った純正カートリッジをホルダーにセットします。



2 穴あけ用フタをかぶせて、ドリルですべての穴を開けます。**ドリルの根元が見えなくなり、取っ手が穴あけ用のフタに付くまでしっかり深く穴を開けてください。**



ねじり込むイメージ

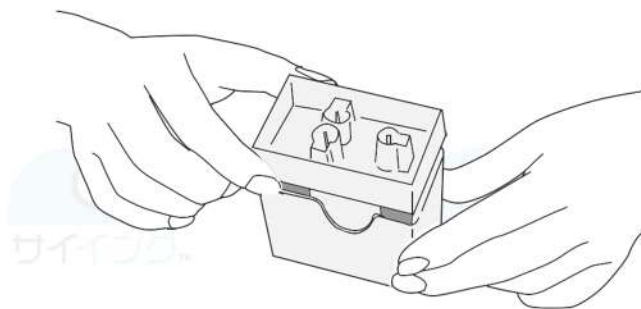
【横から見た図】



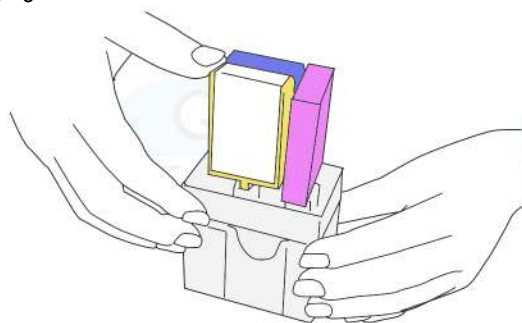
ポイント

- ・穴が開ききっていないとインク補充中にインクが漏れます。

3 穴を開けたら、穴開け用フタを外してインク注入用フタをセットします。



4 各色のつめ替えボトルをインク注入用フタに合わせてセットするとインクの充填が始まります。

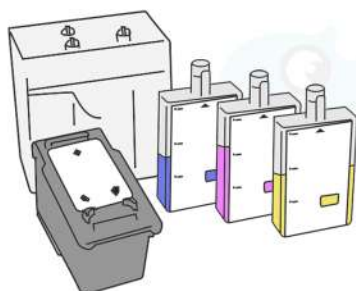


5 下記の【1回の充填インク量】インクまでインクが充填されたら、つめ替えボトルを外してください。つめ替えボトルにインクが残っている場合はティッシュペーパーなどで軽く拭き、次回使用時まで保管してください。



【1回の充填インク量】
カラー：つめ替えボトル
目安線の約1メモリ
ブラック：約1本

6 充填したインクはカートリッジ内のスポンジに吸収されますので穴をふさぐ必要はありません。そのまま速やかにプリンタにセットしてください。初回は4ページ目「インク残量検知機能の無効化」を行ってください。



■「インク残量検知機能の無効化」 設定方法



つめ替えたインクカートリッジを使用する際は、プリンタのストップボタン(リセットボタン)を5～10秒間長押ししてください。

この操作を行うことでプリンタ本体のインク残量検知機能が無効化され、つめ替えたインクカートリッジが使用可能になります。

- この設定は毎回行う必要はありません。初回つめ替え時はブラックとカラー1つずつ無効化の設定をする必要があります。一度設定いただければ、その後は継続してご使用いただけます。
- 残量表示を無効化するとプリンタの機種によってはエラーランプが点滅したままになります。ご利用いただく上で異常ではございませんので、安心してご利用ください。



残量検出機能の無効化を行うとインク残量が表示されません

インクの残量については、実際の印刷物の状態(カスレ・色合いの異常)、及びテストプリントの結果からご判断ください。



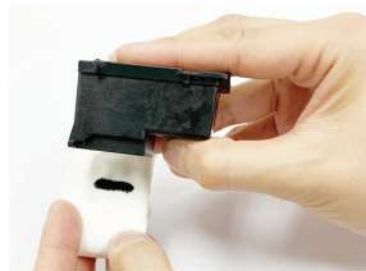
■充填のポイント・使用上の注意

- 初めてつめ替えを行う際は、つめ替え用インクボトルを挿入後、1～2分でカートリッジが満タンになります。何回もつめ替えを繰り返すうちに、カートリッジの吸収に時間がかかるようになりますが、その際はつめ替え用インクボトルを挿入後、5分以上放置してください。
- プリンタを長く使用していない場合、インクの充填に時間がかかる場合がございます。この場合つめ替え用インクボトルを挿入後、5分以上放置してください。
- 穴を開けてもインクが入っていかない場合、穴開けが浅いことが考えられます。2ページ目の「つめ替え手順②」のように、ドリルの根元が見えなくなり、取っ手が穴開け用のフタに付くまでしっかり深く穴を開けてください。
- インクをつめ替えた後、印刷がかすれる場合はヘッドクリーニングを行ってください。
- インクカートリッジの IC チップにキズが付くと、プリンタにインクが認識されなくなりますので、インクカートリッジの取り扱いにはご注意ください。
- インクの吹き出し口であるプリントヘッド（インクカートリッジの下部）が損傷すると印刷トラブルにつながります。プリントヘッドに手を触れたり、キズが付かないよう、十分にご注意ください。
- つめ替え後、純正インクカートリッジのラベルを剥がしたり、上から何かを貼ったりしないでください。

■よくある質問FAQ

Q1 印字がうまくいかない時はどうしたらいいですか？

A1 ①から順にお試してください。下記をお試しいただいても改善が見られない場合は、プリントヘッドの劣化が考えられます。純正のインクカートリッジ自体を交換してください。



①インクのとめ替え直後は、純正カートリッジ内部にインクが浸透していません。ティッシュペーパーを数枚重ねた状態で、インクが滲むまでヘッド部分を押し当ててください。※手などにインクが付着しないようにお気を付けてください。

②引き続きカスレなどが見られる場合は、しばらく放置し、プリンタのヘッドクリーニングを1～3回程度行ってください。



③ヘッドクリーニングでも改善されない場合は、純正カートリッジ内部のスポンジが劣化して硬くなり、インクを吸収できなくなっている可能性があります。インク注入のために開けた穴へ爪楊枝を奥までナナメに差しこみ、しばらくそのままの状態を放置してください。爪楊枝を挿すことでインクが浸透しやすくなります。



④インクの吹き出し口(プリントヘッド)が目詰まりしている場合は、容器にぬるま湯を2ミリほど薄く張り、カートリッジ底面部分のプリントヘッドだけが浸かるようにして20分ほど放置します。付着した水分を拭き取ってからプリンタにセットし、ヘッドクリーニングとテストプリントを行ってください。

Q2 カートリッジの穴が開けにくい時は？

A2 品番によって穴が開けにくい場合がございます。表面の構造が格子状になっているカートリッジ(右の写真)は、他の品番と比べてドリルが正しい位置に入りにくい仕様です。大容量サイズ(XL)のほうが穴が開けやすくなっているため、大容量サイズのご使用をおすすめしております。



大容量サイズ



通常/スターター

対象品番

- ・ BC-345(標準容量)
- ・ BC-345(スターターインク)
- ・ BC-365(標準容量)
- ・ BC-365(スターターインク)

※2022年6月現在

■よくある質問FAQ

Q3 つめ替えボトルのインクが残りしました。保管する際に漏れないでしょうか？

A3 インクは漏れない仕様となっておりますが、差し込み口をティッシュペーパーなどで軽く拭き、箱の中で立てて保管してください。

※製品の仕様変更があると、こちらの説明と一部異なる場合がございます。
使用上ご不安がある場合は、サポートセンターにお問い合わせください。



sai@3119.jp




なあ〜に サイインク
0120-72-3119

平日10:00~17:00
(年末年始・夏季休業を除く)

当サイトの内容・テキスト・イラスト・画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。

Unauthorized copying and replication of the contents of this site, text and images are strictly prohibited.

严禁未经许可擅自复制或使用本网站的内容，文字，插图，图像等。  サイインク™